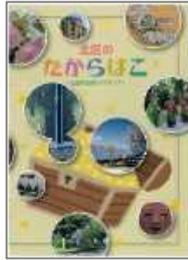


# 北区販売図書一覧

画像	書名・内容紹介	価格(税込)
	<p>『TOKYO北区のKITAみち～目で見える北区の歴史～』</p> <p>北区の歴史について、たくさんの写真や図版でわかりやすく紹介した、カラフルで見ているだけでも楽しい北区の地域史の決定版です。地図付きなので、歴史散歩の手引きにもご利用いただけます。ぜひご覧ください。</p>	500円
	<p>『北区基本計画2020』</p> <p>北区基本構想の実現を目的とする区政の基本方針で、令和2年度から令和11年度までを計画期間とした長期総合計画です。令和2年度以降の10年間に区が取り組むべき主要な施策の方向性を示し、個別目標ごとに施策を体系化しています。</p>	2,250円
	<p>『北区勢要覧』</p> <p>北区外の方へのPRを目的として作成した冊子で、「北区風景」・「北区グラフィティ」・「北区の魅力」・「マイタウン」・「区民とともに ふるさと北区」のテーマごとに、豊富な写真とともに北区の概要や魅力を紹介しています。英文も併記しています。</p>	300円
	<p>『北区のたからばこー北区文化財ガイドブックー』</p> <p>北区にはさまざまな文化財が残されています。それらは遺跡や、土器などの遺物であったり、社寺や仏像、古文書であったりと多岐にわたっています。また、祭礼、教育、産業、自治など人々の営みの中で伝えられてきたものも文化財といえます。</p> <p>これらの文化財は、過去の歴史を伝えるだけでなく、私たちに新たな北区の魅力を発見させてくれる宝物です。</p> <p>この文化財ガイドブックでは、区内の国・都・区指定文化財や北区台帳登載文化財を中心に、北区の歴史や文化に触れる一助になれば幸いです。(平成28年3月発行)</p>	500円

	<p>『北区植物ガイドブック』</p> <p>身近な植物の見分け方などを通して、環境に対する関心をたかめることを目的として発行しました。植物の調査から企画、編集、デザインまで全てが区民参加のワークショップ形式によるものです。</p> <p>写真のサイズや文字を大きくし、漢字にはふりがなを付けるなど、子どもからお年よりにもわかりやすく工夫し、公園や道ばたでよく見かける代表的な植物約400種類を紹介しています。</p>	<p>670円</p>
	<p>『北区飛鳥山博物館 常設展示案内』</p> <p>常設展示は「大地・水・人」を基本コンセプトに14のテーマ展示で構成されており、これらを貴重な写真とイラストで解説した図録です。郷土北区の3万年に及ぶ歴史が総覧できます。</p>	<p>700円</p>
	<p>『東京人増刊号「王子飛鳥山を愛した渋沢栄一」』</p> <p>北区と雑誌『東京人』（都市出版㈱）がコラボレーションし、「渋沢栄一と北区」を主題とした一冊を刊行しました。飛鳥山の邸宅跡や区内の各所に今なお残る渋沢栄一の足跡を取り上げ、各界の著名人・有識者による記事で構成されています。</p>	<p>740円</p>
	<p>『みんなでつくる北区景観百選2019ガイドブック』</p> <p>北区内外の皆様の投票をもとに認定した「みんなでつくる北区景観百選2019」のガイドブックを刊行しました。北区の素晴らしい景観をはじめ、さまざまな視点からの景観を特集したページなど、北区の魅力がたくさん詰まっています。ぜひご覧ください。</p>	<p>500円</p>
	<p>『北区こぼれ話1』</p> <p>北区立中央図書館・広報誌『北区の部屋だより』にて連載中の、北区に関する雑学や豆知識を紹介する「北区こぼれ話」第1回から第50回までを一冊の本にまとめました。この本では連載版には入っていない新たなエピソードも加筆、再編集しており、さらに充実した内容となっています。</p>	<p>200円</p>
	<p>『北区こぼれ話2』</p> <p>『北区こぼれ話1』に続く第二弾で、広報誌『北区の部屋だより』にて連載中の「北区こぼれ話」より、第51回から第100回までを一冊の本としてまとめました。前作同様、連載時の内容に新エピソード等を加筆、再編集しています。</p>	<p>200円</p>